

学校再編に係る地域協議会(生駒南小学校区)

第2回協議会 会議録

開催日時 令和3年5月20日(木) 午後4時30分から午後5時15分

開催場所 生駒南小学校 第2多目的室

出席者

(参加者) 前田康二、田中康博、松尾正則、山田龍三、辻本得延、根来健夫、
佐々木達也、中田眞知子、堀田綾乃、大久保智子、奥田吉伸

(事務局) 原井教育長、山本教育総務課長、前田教育指導課長、牧井教育総
務課主幹庶務係長兼務、西井教育総務課庶務係

(傍聴者) 6名

欠席者 吉田昭、岡本泉

配布資料

資料1 令和の日本型教育 I K O M A モデルの構想

資料2 地域等からの意見聴取結果

(事務局) まず初めに令和3年4月1日付で新しく就任いたしました生駒市教育
長の方より一言ご挨拶申し上げます。

(教育長) 皆さん改めましてこんにちは、本日はお忙しい中また足元の悪い中、
本地域協議会にご出席いただきましてありがとうございます。開会
にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。4月1日付で教育長に就
任いたしました原井でございます。壱分小学校校長に在任中には南
地区の皆さまには大変お世話になることが多く本当にありがとう
ございました。こちらの地域の皆さまが学校と連携しながら、地域
の子ども達を育てていただいている。そのことにつきましては、校
長在任中からいろいろと私も勉強させていただいておりました。こ
の会議の直前にも学校運営協議会を開かれたということで、正に小
学校・中学校が一緒になって地域の方と学校運営に関わっていただ
いていることに関して改めてお礼を申し上げます。私自身もこれま
での学校現場の経験を生かして生駒市の全体の教育の発展・充実に
努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いい
たします。就任にあたりましては、別紙資料に付けております「教

育長だより」に私自身の教育への思いを書かせていただいております。学校教育につきましては、3つの重点目標、「GIGA スクール構想の推進」、「学校と地域との連携の推進」、そして「全ての子ども達の居場所づくり」ということで書かせていただいておりますので、またご一読ください。また、裏面のほうには、その「令和の日本型教育 I K O M A モデルの構想」ということで私自身の今の思いを少し図式化したものでございます。これはあくまで、教育委員会というよりも私自身の今の思いを形にしているものですので、また見ていただけたらと思います。このようなことをですね、もちろん南小学校、南第二小学校のこともそうなんです、生駒市全体で取り組んでいきたいなというふうに思っている構想といたしますか、思いでございます。この協議会におきましては、教育委員会・学校・保護者・地域の方がみんなで協議して、意見書を作成していくという認識でおります。これまで地域や保護者の皆さまから様々な意見やご提案をいただきまして本当にありがとうございます。本日はこれまでいただきましたご意見を確認するとともに、今こちらの方は2回目なんです、南第二小学校の方は3回地域協議会を開催しましたので、その進捗状況を共有していただいて、また今後の進め方についても協議いただけたらというふうに考えております。限られた時間の中ではありますが、忌憚りの無いご意見ご提案をいただけたらありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局) それでは、ここで1点ご確認させていただきたいことがございます。小学校・中学校のPTAからの選出で参加いただいている委員、2名の方なんです、PTAの方では毎年メンバーが替わられるということで、小学校のPTAの方は、現在、会長は別の方に替わられているとお伺いしております。この状況でこの協議会に参加していただくというところをどうゆうふうにすれば良いかというご相談をいただきました。ご本人さんは二小との再編の区切りがつくまではということは申し出ていただいております。中学校のPTAの方については、お伺いしていないんですが、メンバーが替わられているのであれば、替わりたいということになるのか本日来られていないのでわからないんですが、変更等につきましては、PTAの中で

協議していただいて、入れ替わるのであれば入れ替わるという形で受けさせていただいてよろしいでしょうか。

《意義なし》

(事務局) それでは、P T Aからの委員の選出につきましては、P T Aの中の協議でお任せいたしますのでよろしくお願いいたします。本日は、このまま進めさせていただきます。

※事務局より配布資料確認

(座 長) 1 つ目の議題「生駒南小学校区における意見聴取結果について」でございませう。このことについて、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 資料2のご説明をさせていただきます。アンケート用紙を各自治会のご協力をいただきまして、配布数が2,865世帯に配布させていただきました。意見提出の件数ですが一部回答を含めまして68件、回収率は2.37%でした。各項目についてですが、「(1)児童生徒の通学の負担(通学時間、通学手段等)及び通学路の安全に関すること」の設問に関しましての回答ですが、こちらの方には、羅列で全てのご意見を載せさせているんですが、見させていただいている中で、大半がもし再編するのであれば、スクールバスの導入といわれています。それと通学路の整備が必要であるという意見が主な意見でした。中にやはり通学の距離というのがあまり遠くなるというのは問題であるのではないかというご意見も入っておりました。次に「(2)学校再編の環境変化に伴う児童・生徒及び保護者への対応に関すること」というところですが、こちらの方には、廃校に対して反対という意見が多く書かれておりまして、2校の統合には反対であるとか、もしするのであれば環境の変化に対する配慮が必要であるという意見があり、統廃合されることには反対であるという意見が上がっておりました。統廃合するのであれば、もっと十分に協議を重ねてすべきであるという意見が寄せられておりました。「(3)通学区域の見直しに関すること。」については、小学校の校区というより中学校の校区の検討ということが書かれておりまして、今後の課題ではないかというところで、壱分小学校とかの通学区域の見直しというところも書かれている部分でございませう。大まかに言いますと校区の見直しということについては必要であるという意見が書

かれておりました。次に「(4)学校と地域の関係に関すること」については、再編することによって、地域から学校が無くなることは地域コミュニティが無くなるという趣旨の意見が大半でございました。ですので現在の二小が無くなるということについては、学校と地域の関係というところに関して言えば、反対という意見になるようなご意見が多く寄せられておりました。「(5)学校跡地の利活用に関すること」については、この質問でいくと再編されたということが前提になってしまいますので、書いていただいているんですが、跡地利用を考えるなんてとんでもないという形の意見もございましたし、廃校に絶対反対であるという意見がここに書かれている中では多く書かれていたという形になっております。「(6)特別な配慮を要する児童生徒への対応に関すること」については、1人の子どもを育てていく為の特別な配慮と指導を充実すべきということは、学校再編が前提であるということでは無いのではないかという意見やそれに似た意見が書かれておりました。その他の「上記の留意すべき事項以外で懸念される課題」については、統廃合反対という意見、学校が無くなることで、放課後の子ども達の生活に留意すべきでないか、南小と南中の老朽化状況はどうなるのか、ということを書いていただいているところがありました。どうしても、こちらの方の地区のご意見となるところでは、聞く内容によっては、進めていくように読み取れる意見も出ていたんですが、全体でみると二小を統合することは反対であるような意見を書いていた部分が多く見受けられたというふうに思われます。以上簡単なお説明ですが、アンケートを取らせていただいた結果報告とさせていただきます。

(座長) 只今の説明について、何かご意見ご質問等ございますでしょうか。

(委員) 南小学校区の意見聴取でまとめられたということなんですが、その中の意見としてははなはだ矛盾する意見が沢山あります。南小校区なら、南小に統合するのでしたら距離は変わらないんですね。この中には距離が遠くなるからとかそういう書き方をしているのは、二小から見た意見なんです。それがものすごく散見されるんです。南小校区の意見聴取じゃないですよこれ、中には南小校区の方の意

見もあります。大半が第二小の意見が書かれてあります。だから第二小まで配ってやられたのかなと思って、非情に疑問に感じたんです。その辺のお答えをお願いします。

(事務局) あくまで配らせていただいたのは南小校区の自治会に配らせていただいているんですが、書いていただいている内容については、書いておられる方にすれば、南小として意見を言っているというより、南第二小の立場に立って意見を言っておられるのではないかなというふうに事務局側としては考えております。ですので言い方が稚拙かも知れませんが、逆の立場に、統合される側の立場になったら、こういうふうな意見になるだろうなという意見かなと考えております。

(委員) 統合した会議で、両校の地区の人が集まって会議をするということであればわかりますが、第二小の話は大体想像できることばかり書いているんで、この会議の中でそれを討議しても意味がないと思います。南小校区は南小校区の中での意見だと思いますけども。

(座長) 現状の南小学校区の中で、校区の方の立場からのご意見としてというところでの、一定のまとめが必要ではないかというご意見もいただきました。全体的なご意見としては、統合するということを仮定したときに、こういう問題が出ているのではないかということではないかというのではないかと思うんですが、他にご意見いかがでしょうか。

(委員) このアンケートなんですけど、一番最初に配布数 2865 世帯と書いてありますが、これはどこからこの世帯数を書かれたんですか、なぜかというところのアンケートですが、うちの自治会に来てたのは3月29日なんです、これを自治会に回そうと思ったら、4月1日に回覧を回すんですけど、3日しかなかったんです。それに回覧を付けてアンケートを回すんですけど、そんな急ごしらえのアンケートで、しかも解答率が 2.37%ですよ。こんな回答率では意味がないですよ。本当にアンケートを取ろうと思って取り組まれてきたのかなと思うんですけど、まずはその配布件数と回答率についてご意見をお聞かせ願いたいんです。配布数はどこから出されたんですか。

(事務局) これは、全自治会から必要な枚数を聞かせていただいた枚数で、自

治会長に送らせていただいた枚数です。

(委 員) 配ったかどうかわかりませんやん。校区の方に届いたかどうかわからないでしょう。

(事務局) はい

(委 員) 自治会の集計をただけでしょう。なんでこんな書き方をするんですか。すべての自治会がその3日の間で自治会員に配られたというふうに理解されている訳ですか。届いたのは、3月29日、そうか2月29日、回覧を回すのに3日しかなかったんです。それで全世界帯に回ったとお考えなんですか。

(事務局) 一応、自治会のほうにお願いした数という形で考えておりますので。

(委 員) 確認はしたんですか。

(事務局) そこまでの確認はしていません。

(委 員) 回ってくるのが遅いんです。第1回目の会議でも当日の3日前ぐらいに郵送で来たんです。それはちょっと無理ですよ。今回も案内が来たのが2週間前です。そんな会議ってあり得ないです。この前お宅さんの所へ行って言ったと思うんですが、それでも2週間前って、これはどういうふうにお考えなのか、やる気がないのかとっているんです。

(事務局) 日程調整等で時間がかかっておりまして、ぎりぎりになってしまっ
て申し訳なかったです。

(委 員) そもそも問題です。内容以前の問題、最初の問題です。2865世帯
というのは、全世界帯に回ったと理解されているんですね。

(事務局) はい。

(委 員) わかりました。

(座 長) アンケート等については、自治会の皆様にも大変タイトなスケジュー
ールの中でお願ひしたということで、今、ご指摘もございましたの
で、その中で集められるだけ案件を集約していただいたということ
でございます。ただ、この短い期間の中でも、こういった様々なご
意見をいただきましたので、そういったところを、更に協議させて
いただきながら、校区の意見をまとめさせていただければと思いま
す。今回事務局からのご説明をいただきながら次回に向けて進めて
いくということになりますのでよろしくお願ひいたします。そうい

たしましたら、続きまして案件の2に入りたいと思います。事務局から説明よろしく申し上げます。

(事務局) 今現在の生駒南第二小学校区での地域協議会の検討状況について、まず報告させていただきます。現在までに3回、生駒南第二小学校区の方では、地域協議会を開催させていただいております。第二小での地域協議会の中では、地域協議会としての意見として、再編ということには反対であるということで、意見を出すということで、意見を統一されております。その中で、第二小存続に向けた具体的な取組案をまとめていくというところで、現在、委員の中から様々な、小規模校の存続という形の意見をまとめ上げて、意見書を作成するというところで、意見の交換をさせていただいております。次の第4回に向けて、その意見書を具体的なものとして、事務局の方で案を作成させていただきまして、第4回で、小規模校として残る為の学校での取り組み、地域・PTA・学校・そして市が共に小規模校として残す為の案を作成しているところでございます。その案を事務局案として出させてもらったものを第4回でご検討、ご協議いただきまして、その上で市に対する意見書として、南第二小学校校区の地域協議会としての意見書として出されるという予定になっております。南第二小学校の地域協議会の進捗状況は以上でございます。

(座長) 「今後の生駒南小学校区での地域協議会の検討について」についての説明も続けて申し上げます。

(事務局) 先ほども、南第二小学校の進捗状況をお伝えさせていただきましたが、その中で南小学校の検討をする上で、南第二小学校は、再編に反対であるとの意見書が出されますので、その中で南小学校として再編の検討をするというのが、ちょっと進めていく話が難しいというか、無いのではないかなと、また進めづらいのではないかなというところがありますので、今後、南第二小学校の意見書が出来た段階で、今後の南小学校の他の課題等もございまして、その区分の検討に入らせていただくという形の方が良いのではないかと市としては考えておりますが、いかがでございましてでしょうか。

(座長) ご説明ありがとうございます。只今、「生駒南第二小学校区での地域

協議会の検討状況」のご説明、それから「今後の生駒南小学校区の地域協議会の検討について」ということで、南第二小学校の意見をまず踏まえてというようなことで、ここでご議論いただくということ、ご提案いただきました。只今、事務局からご説明いただいたことについて、ご質問ご意見ございますでしょうか。

(委員) 事務局の方で努力していただきまして、いろんな問題もありましたが、こんなにも沢山の意見が出て、私も読ませてもらって、親御さんというか地域の皆さん、子育てが終わった人なんかについてもいろんな意見を出しておられると思うんですが、貴重な意見ですね。これだけ出ていて、それを今後南小についても、中学校との統合の問題とか、そういうことをどういうふうに、いろんな面から考えていくとか、それからやっぱり根本的に前にもこの場で意見が出ていたと思いますが、校区割ですね、特に南中なんか部分の、クラブ活動が少ないとかいうことで、クラブ活動が社会教育のほうになっていくだろうと言っておられましたが、それにしても、偏在というかちょっと小さすぎる。そこら辺について、せっかくこういうような住民達で第二小も含んで南小の方でもいろんな意見出て、いろんな所でいろんな議論もされたと思います。話も出てきていると思います。だからその意見を今後ですね、いろんな部分で小規模になっていく部分もあるだろう、けども、市としては今回、第二小を残すという方向で、住民の考えを尊重するというか、そっちの教育の方が良いのではないかというようなことで、多分、そういうふうなことで、方向性を付けられたと思うんですが、せっかくですので、将来的に校区割のこととか、小中のそこらへんで、いろんな全国的な事例もあるだろうし、生駒市での事例もあるだろうし、そこでいろんな問題点もいろいろ出ている部分もあるだろうし、市として、この市に住む子ども達が豊かな教育を受けてもらえるように、そういう条件をみんなで考えていくという場は非常に大切だと思います。なんと言うか、せっかくこれだけの意見を出していただいているので、いろんな部分で今後いろいろ問題になってくることもあるだろうし、そこらへんを長期間考えて、長期間をもって今後の方向性を、市の方向性とか、そこらへんに役立つことが出来れば、私も良いな

と思っています。以上です。

(座 長) 他にご意見ご質問等ございますでしょうか。

(委 員) ちょっと確認させていただきたいんですが、第二小校区でのお話としては、小規模校として残す為の案を検討して、それを作成して、それを市に対して出されるというところに来ている訳ですか。

(事務局) はい。

(委 員) そしたら、この場で、南小学校区としては、南第二小の廃校とかそういうことを話し合う場ではない訳ですよ。ここでは、南小学校としてこれからどうしていくかということ話し合う場になっていくということなんですか。第二小の絡みは、はっきりするまでは、この場では無くなるということでしょうか。

(委 員) 二小の方の地域協議会と一緒にいらさせていただいて、3回を迎えて、いろんな協議がなされていきました。先程も課長から説明がありましたように第1回から第3回まで、二小については、再編を拒まれたということがございます。最終的に意見書としては、小規模校を残していくという方向での意見書を作成し、そして教育委員会に提出していきたいということの意見でまとまりました。その中で、事務局がその叩き台をつくってということになりました。その状況のもとで、このアンケート、南小の方ではさせていただいていた中で、ようやく集計が上がってきていたという状況でございました。タイミング的には、せっかく皆さんが、アンケートを出していただいて、二小の方が先行して内容を決めていったということが、今の現状でございます。今から二小の方については、意見書を出されるということでございますけれども、この南小校区では、まずは受け入れがどうだったのかと、二小がそういった意見を出されたのであれば、次はどうしていくかという問題に移っていかなければならないのではないかと、そういうふうに私も思っております。せっかく皆さんが真摯に考えていただいて、当初お話しさせていただいた時には、受け入れ側の方で、受け入れて手を差し伸べていただいている状況で、私は感じておりました。ただ、その中でもやはり意見を聞いていかなければいけないということで、このアンケートに移らせていただいた訳でございました。このアンケートの結果も踏まえて、今

日のこの協議会の中でですね、南小としては、じゃあ、どうしていくということをもまず方向づけをしていかないといけない。事務局としては、課長も言いましたように、どうしていくかということをお皆さんに考えていただきながら、今後の方向性、意見書については、出していただかなければいけないと思っております。二小がこういうようなことであるから南小校区としてはこうですよという意見でも良いかと思っております。そういったものを今後の方向性につきまして皆様と一緒に協議をしていきたいということですので、まったく二小が決まったから良いんじゃないかということではなくて、二小が決まってきた中での新たな課題というものがここでは出てくると思っておりますので、そういったものを一緒に考えていきたいと思っております。以上です。

(座 長) いかがでしょうか。他にご質問・ご意見等ございますでしょうか。そういったしましたら、案件の2で事務局からご報告いただいた南第二小学校区の協議状況については、また適時ご報告いただいて、これからは意見書の作成ということになってきますので、そちらの方も皆様と共有させていただく中で、それらも踏まえまして、南小学校の協議会の協議を進めていければというふうに思っております。本日は、事務局からの進捗の報告、皆様に大変ご尽力いただきました意見聴取の集約についての報告、ということで事務局からの報告を中心に進めさせていただきました。この後、そういう方向で第二小学校の検討も共有しながらこの校区としての意見をまとめていければというふうに思っております。本日の案件はこれですべて終了いたしました。お疲れのところ議事進行にご協力いただきましてありがとうございます。また、次回以降よろしく申し上げます。

(事務局) ありがとうございます。最後に教育長から。

(教育長) すいません。今日はありがとうございました。貴重な皆さまからのご意見をいただきまして、私自身いろいろこれから考えなければいけない課題につきましても、思いを新たにしました。アンケートにつきましては、ご指摘があったとおり、配布の仕方、時期、またその集計につきまして配慮が足りなかった部分も沢山ありました。それから、ほんとに、今回急に、皆さんにお知らせしてから今日まで

の時間も、急遽なことになってしまいました。これは、1つには、まだ1回目だけで、その後ずっとそのままになっていたということと、皆さんが思ってもらえることは、肝心の二小の方の協議会がどうなっているのかということをお気掛かりにいただいているのと、そちらの方が進まないとなかなかこちらの方の意見というものを出しにくいということが実際にあるかと思えます。それで、私自身も前回二小の方にも行かせていただいて、ここまでの進捗状況をまず知っていただいて、次回二小が6月5日に第4回を致します。その時に二小の意見書のひな型、先ほど奥田部長が申しあげましたように、今事務局の方で作成しております。また、そちらの方を叩き台にして、第4回で二小の方で6月に話をしていただいて、第5回、7月になってからになると思いますが、完成に近いものが出来ましたら、その段階で、皆様の南小の協議会の方にも報告をさせていただいて、二小の意見に対して、皆様の意見をお聞きし、尊重するというか、そちらの意見に対して何かを言うというのは難しいとは思いますが、また、こちらサイドの方の意見として出していただく、と同時に先ほど委員さんが発言していただきましたように、ここの校区の区割りの課題であったりとか、小中に関してこれからどうしていくのかということもこの南小からの意見書の中に盛り込ませていただいて、直接今回の編成には関わらないことかもしれないけれど、長いスパンで見た時に生駒の学校を考えていく上での、貴重なご意見として、意見書に残していけたらどうかと、私も考えております。そういう意味でこちらの協議会が、決して直接再編に結び付くことではないけれど、生駒市の学校の将来を考える上で、また、いろんな意見を出していただいて、それを盛り込んだ意見書を作成していけたらなと思っておりますので、どうぞ今後ともよろしく願います。ありがとうございました。

(事務局) 本日は、長時間ありがとうございました。